

21. 8. 28
人事教育局衛生官

「自衛隊病院等在り方検討委員会」報告書の概要について

1 委員会の設置趣旨

近年の多様化する任務に対して的確に対応するため、自衛隊病院の再編を視野に入れつつ、自衛隊病院の更なるオープン化や医官の医療技術の維持・向上等について検討するため、平成20年11月17日、岸防衛大臣政務官を委員長とする「自衛隊病院等在り方検討委員会」を設置したもの。

2 経過等

平成20年11月21日	「第1回自衛隊病院等在り方検討委員会」開催
同年 3月 4日	「第2回同委員会」を開催し骨子案を了承
21年 6月10日	「第3回同委員会」を開催し中間報告を了承
同年 8月28日	「第4回同委員会」を開催し報告書の審議し了承

3 報告書の概要等

「自衛隊衛生の現状と問題」を踏まえ、「自衛隊衛生のあるべき姿」を見据えた「改善の方向性」及び「改善策」を示し、今後の防衛力整備の資とするものである。改善の方向性としては、限られた資源（人的・物的）を集中することにより、質の高い医療の提供を可能にすることである。主な改善策としては、次のとおりである。

- ① 16病院を10病院に集約化し質の高い病院の整備
- ② 原則として保険医療機関化を目指すとともに、救急診療の推進
- ③ 防衛医大及び他医療機関等との連携強化
- ④ 病院利用率向上等のための各種施策の推進

4 今後の予定等

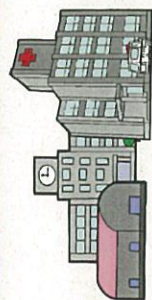
本報告書に基づき、今後、短期的及び中長期的に自衛隊病院等の改善を進めていくためには引き続き検討を継続し、各年度の概算要求、中期防衛力整備計画策定及び見直しなど、結節時には検討した内容を反映するよう努めるとともに、これらの進捗状況について確認していく。

自衛隊病院の集約化のイメージ

現行

将来

保険医療機関化の推進



防医大病院

連携強化

集約・機能強化

